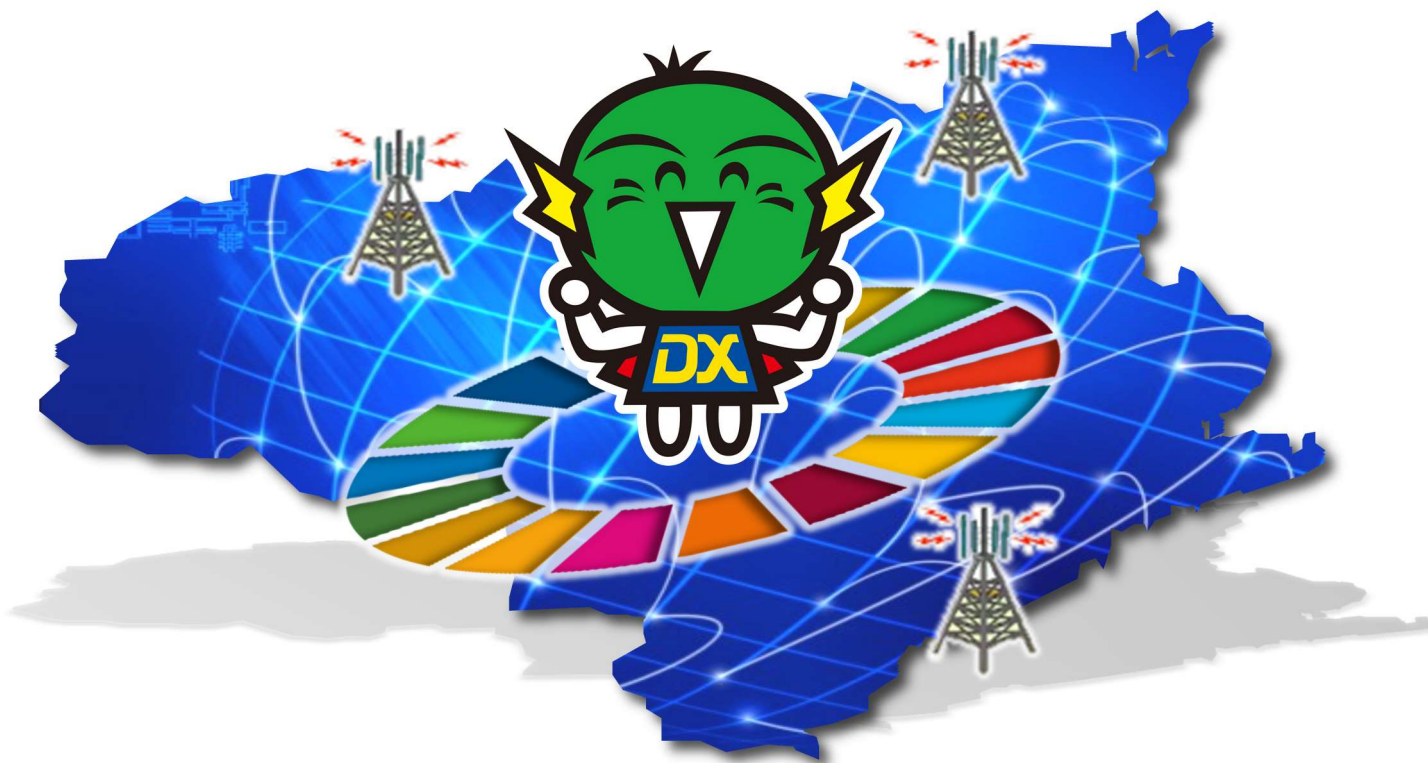


デジタルとくしま推進プラン（ビジョン編） ～とくしま版DXの実現に向けて～ 概要版



令和2年12月
e-とくしま推進会議

【プランの策定趣旨と位置づけ】

【策定趣旨】

- 本県が抱える様々な課題の解決に向けて、ICTを課題解決ツールとして効果的・積極的に利活用するための指針として、平成26年3月に「ICT（愛して）とくしま創造戦略」を策定した
- また、平成30年3月には、データを効果的・積極的に活用することにより、すべての県民がその効果を実感できる新未来を創造するため「とくしま新未来データ活用推進戦略」を策定し、それぞれ推進してきたところ
- 各施策を有機的に連携させ、相乗効果を図ることで、急激にデジタル化する社会に速やかに対応するため、新たな基本理念の下に両戦略を統合し「Society 5.0時代」の新たな戦略として「デジタルとくしま推進プラン」を策定する

【位置づけ】

- 国のIT戦略「世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画」を受けた、本県の総合的なデジタル戦略であり、官民データ活用推進基本法において策定が義務となっている都道府県官民データ活用推進計画に位置付けるもの

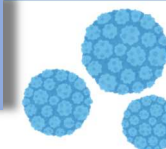
【プランの策定について①】

【SDGsの実現に向けて】



- 2015年の国連総会で「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、この中で「持続可能な開発目標（SDGs）」として17のゴールと169のターゲットが掲げられた
- 本県は2019年1月に全国90を超える自治体による「SDGs日本モデル宣言」に参画しており、デジタル技術を活用して本県が直面する課題の解決を図る本プランの取組を「SDGs」の理念に沿ったものとするにより「誰一人取り残さない」インクルーシブな地域の実現を目指す

【新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応】



- 「新しい生活様式・スマートライフ」を県民生活の「新たな日常（ニューノーマル）」として定着させるとともに、今回の感染拡大を一過性のものと捉えることなく、ひとたび発生すると大きな被害が生じるリスク（テールリスク）に対して十分な備えをして行く必要がある
- 行政のデジタル化、テレワーク・ウェブ会議の積極的な活用、「GIGAスクール構想」の推進など各分野における「デジタルトランスフォーメーション（DX）」への転換を図ることにより「超スマート社会とくしま」を実現する取組を推進する

【プランの策定について②】

基本理念

デジタルで全てがつながる社会への転換を図り、「Society5.0」を通じて安全安心で豊かさを実感できる地域を創造する

目指すべき 4つの社会と 基本目標（分野）

① **安全安心な暮らしをしなやかに守り抜く社会**
▶防災力の向上・着実なインフラ整備 ▶医療・福祉体制の充実

② **全ての人に優しく、スマートで持続可能な社会**
▶利便性の高い行政サービスの実施 ▶スマートな環境対策
▶モビリティの向上

③ **新たな価値が創造され、豊かさを実感できる社会**
▶人と企業が集まる地域づくり ▶魅力ある農林水産業の実現
▶観光誘客による地域経済の活性化

④ **人材を育み、誰もが輝く自己実現可能な社会**
▶教育・人材育成 ▶デジタルインクルージョン

推進期間 令和2年度から令和6年度まで（5年間）

【プランの体系図】

【ビジョン編】

プロジェクト編

基本理念

デジタルで全てが豊かな社会への転換を図り、「Society 5.0」を通じて安全安心で豊かさを実感できる地域を創造する。

目指すべき社会

安全安心な暮らしを
しなやかに守り抜く
社会

全ての人に優しく、
スマートで持続可能な
社会

新たな価値が創造され、
豊かさを実感できる
社会

人材を育み、誰もが
輝く自己実現可能な
社会

基本目標（分野）

防災力の向上・
着実なインフラ整備

医療・福祉体制の充実

利便性の高い行政
サービスの実施

スマートな環境対策

モビリティの向上

人と企業が集まる地域
づくり

魅力ある
農林水産業の実現

観光誘客による
地域経済の活性化

教育・人材育成

デジタル
インクルージョン

重点戦略

平時からのシームレスな
災害情報の共有

インフラ管理・建設現場に
おけるデジタル技術の活用推進

誰もが安心して利用できる、
医療・福祉サービスの提供

デジタル技術を活用した、
行政サービスの向上

豊かな暮らしにつながる
行政のデジタル化

環境に優しい循環型社会の実現

利用しやすい交通インフラの構築

地域の強みとデジタル技術を
活用した、新サービスの創出

スマート農林水産業の推進

デジタル技術を活用した、
魅力発信とにぎわいづくり

eスポーツによる、にぎわいと
交流機会の創出

学びを支えるデジタル技術の活用

デジタル人材の育成支援

インクルーシブな
デジタル社会の実現

具体化

〇〇プロジェクト

△△プロジェクト

①【安全安心な暮らしをしなやかに守り抜く社会】

＜防災力の向上・着実なインフラ整備＞

＜平時からのシームレスな災害情報の共有＞

＜インフラ管理・建設現場におけるデジタル技術の活用推進＞



災害時情報共有システム等の活用



無線LAN

【防災拠点】

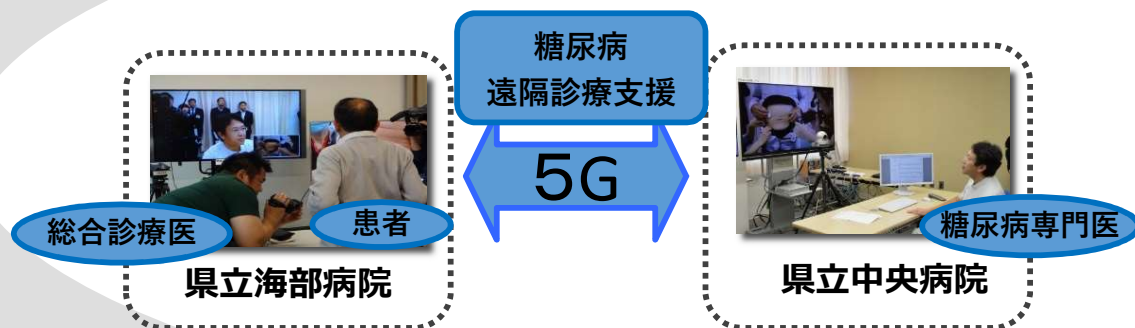
防災拠点への公衆無線LANアクセスポイントの設置



ICT建設機械の導入や作業の自動制御などi-Constructionの推進、高所・危険箇所へのドローン活用をはじめとする高度なインフラ管理

＜医療・福祉体制の充実＞

＜誰もが安心して利用できる、医療福祉サービスの充実＞



5Gを活用した遠隔医療の推進



地域医療情報連携ネットワーク「阿波あいネット」の普及促進

②【全てのの人に優しく、スマートで持続可能な社会】

＜利便性の高い行政サービスの実施＞

＜デジタル技術を活用した、行政サービスの向上＞

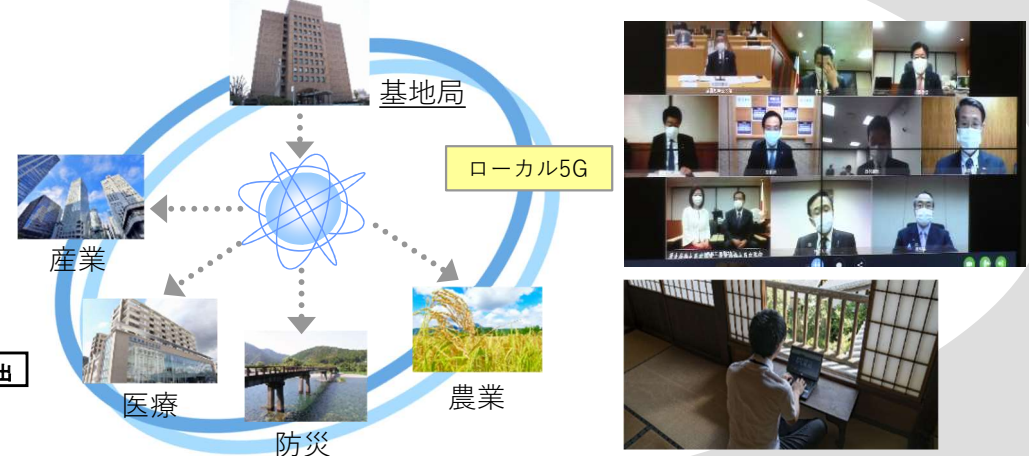


【AIを活用した情報発信】



デジタル技術を活用した行政システムの変革、マイナンバーカードの利活用

＜豊かな暮らしにつながる行政のデジタル化＞



ローカル5Gの環境整備

テレワーク・ウェブ会議の活用

＜スマートな環境対策＞

＜環境に優しい循環型社会の実現＞



柔軟なエネルギーシステムの導入

＜モビリティの向上＞

＜利用しやすい交通インフラの構築＞



Maas（マース）の構築

③【新たな価値が創造され、豊かさを実感できる社会】

＜人と企業が集まる地域づくり＞

＜地域の強みとデジタル技術を活用した、新サービスの創出＞



デジタル技術を活用した
若者が夢を持てる地域づくり



サテライトオフィスの誘致・定着

＜魅力ある農林水産業の実現＞

＜スマート農林水産業の推進＞



【AIによる熟度判定】



【栽培管理システム】

スマート化技術を活用した超省力・高品質化

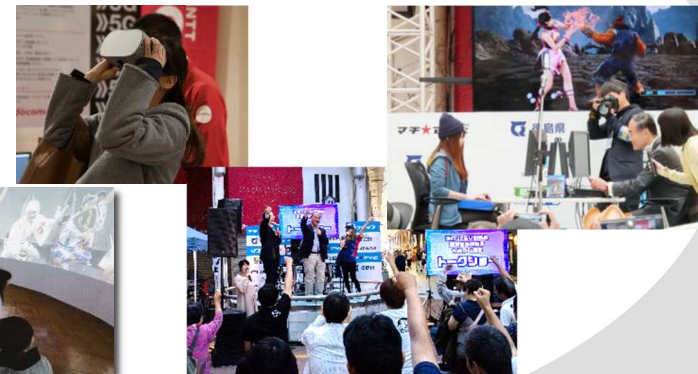
＜観光誘客による地域経済の活性化＞

＜デジタル技術を活用した、 魅力発信とにぎわいづくり＞



VRなどを用いた効果的な情報発信

＜「eスポーツ」による、 にぎわいと交流機会の創出＞



先駆的な「eスポーツ」
イベントによるにぎわい創出

④【人材を育み、誰もが輝く自己実現可能な社会】

＜教育・人材育成＞

＜学びを支えるデジタル技術の活用＞



「児童生徒1人1台端末」の実現など
「GIGAスクール構想」の推進



統合型校務支援システムの導入

＜デジタル人材の育成支援＞



幅広い世代が参加できる、イベントやセミナーの開催

誰もがデジタル社会の恩恵を享受できる社会の実現



【誰もがデジタル技術について
学べる環境の整備】



＜インクルーシブなデジタル社会の実現＞

＜デジタルインクルージョン＞



【ヒューマンインターフェースに
配慮したデジタルデバインド対策】